

# 千葉県ラグビースクール 入部のしおり

CHIBA RUGBY FOOTBALL SCHOOL

2014年3月23日改訂

## 千葉市ラグビースクールの軌跡（歴史）

### 【千葉市ラグビースクール創立当時のスクール方針（昭和60年）】

- ラグビーフットボールを通じて、少年少女に安全で、明るく、正しい運動の機会を与え、健全かつ逞しい心身の発達を図る。

### 【軌跡（歴史）】

- 昭和47年 S47年6月、生徒数約40名、指導者5名で「大宮台ラグビースクール」を開校し、練習場所として大宮小学校グラウンドを使用。
- 昭和50年 S50年4月より大宮中学校・大宮台小学校グラウンドへ移る。  
S50年6月 四街道ラグビースクールの開校式へ参加する。  
(大宮台ラグビースクールでの数ヶ月間の学習後に開校した。)
- 昭和52年 千葉テレビの「豊なくらし」の一環として、昭和52年末から昭和53年早春にかけ、数回に亘り大宮台ラグビースクールの活動状況が紹介された。
- 昭和53年 「房総少年ラグビー練成会」への参加。  
千葉県下のラグビースクールが一堂に集い懇親と技を競う催しが発足、大宮台ラグビースクールは第1回大会開催以降、常時参加する。
- 昭和58年 全国高校ラグビー大会千葉県決勝大会にて、初めての前座ゲームで大宮台ラグビースクールは、米本ラグビースクールと対戦し接戦の末、勝利する。なお、試合の様子は千葉テレビにて中継放映される。
- 昭和60年 S60年9月「大宮台ラグビースクール」から「千葉市ラグビースクールとして、新たに開校、練習場所として蘇我にある千葉銀行・南町グラウンドを使用。
- 平成8年 H8年9月 千葉銀行・南町グラウンドが高層マンション建設計画により閉鎖。
- 平成9年 H9年1月 斎代表・曾根監督のご尽力により、私立昭和秀英高校近隣の神田外語大学グラウンドをホームグラウンドとして、神田外語大学理事会の承諾を得る。
- 平成10年 H10年4月 千葉県立磯辺高校ラグビー部監督、横山先生のご好意とご尽力により、磯辺高校南側トラックフィールド（芝生グラウンド）開放とスクール専用の部室借用の承諾許可を得る。
- 平成17年 H17年12月 千葉市ラグビースクール創立20周年記念行事として、八千代ラグビーフットボールクラブをお招きし招待試合を行う。

## ラグビー精神 (All for one, One for All)

泥と汗にまみれスクラムを組み縁の下でコツコツと努力する。すべて一つのボールを活かすために、たとえ自分自身は倒れても……。そこに、忍耐・勇気・礼儀等が培われる。

# 千葉県ラグビースクール規則

第1条（名称）・・・本スクールは 正式名 千葉県ラグビースクール（通称 CRFS）と称する。

第2条（運営）・・・本スクールは千葉県ラグビー協会を運営母体とし、父母をはじめとした当地域在住するボランティアにより運営する。

第3条（対象）・・・千葉県周辺地域在住の幼児・小学生・中学生を対象とする。

第4条（目的）・・・本スクールは、ラグビーフットボールを通じて、少年少女に安全で、明るく、正しい運動の機会を与え、健全かつ逞しい心身の発達を図ることを目的とする。

上記目的を達するため次の行事を行う。

1. ラグビーの練習、合宿等の開催
2. 大会の参加、練習試合開催、遠征
3. その他の本スクールの目的を達成するために必要な行事

第5条（入・退部）・・・入部届け及び退部届けを提出すること。届けのないものは、入退部を認めない。入部の場合は、1カ月の体験期間を設ける。体験入部期間は部費を徴収しない。

第6条（休部）・・・休部する場合は、すみやかに主務に申し出ること。

第7条（総会）・・・総会は定期（年1回）および臨時に代表がスタッフを召集し、年間行事の報告と計画、決算、予算、会則の改廃、スタッフの選出など基本的事項を討議する。決定事項はすみやかに保護者に報告し承認を得る。

第8条（スタッフ）・・・運営に際して以下のスタッフを配置する。スタッフの任期は毎年4月1日より1年間とする。

1. 代表 1名
2. 監督 1名
3. 委員 7名（保護者代表、協会、渉外、合宿、会計、用具、広報）
4. ヘッドコーチ 4名＋コーチ

第9条（運営費）・・・本スクールの部費は、スクール生1人につき、6,800円/年（保険料含む）、初年度入会金2,000円とする。

当スクールは原則として部費によって運営する。金額の決定は総会と保護者の承認を得なければならない。中途退部・休部の際の部費の払い戻しはしない。中途入部については、入部月で計算する。会計年度は、毎年3月31日とする。

**【部費について】**

入会金 2,000 円      部費 年間 6,800 円（保険料含む）

別途納会の際には参加費（500 円程度）を徴収します。

選手登録料 *日本ラグビーフットボール協会に選手として登録します。	500 円
スポーツ傷害保険 *1 年間・掛け捨て入部月に関わらず一律で徴収いたします。	800 円
会費 500 円/月 ×11 ヶ月 （*8 月は徴収しません。）  【内訳】 ① 消耗品（救急用具 ポカリ等）・備品（ボール等） ② 運営に必要な諸経費（紙代 印刷費、大会参加費等） ③ 6 年生卒業記念品（ミニラグビーボール）	5,500 円

\*中途入部については、入部月で計算します。

5月	6,300円	10月	4,300円	2月	2,300円
6月	5,800円	11月	3,800円	3月	1,800円
7月	5,300円	12月	3,300円		
9月	4,800円	1月	2,800円		

**【スポーツ傷害保険について】**

★スポーツ保険に全員加入していただきます。ケガをして病院で受診した場合は、各ヘッドコーチまで連絡をして下さい。

概要      : (財) スポーツ安全協会(東京海上日動火災を幹事会社にした、共同保険によるスポーツ傷害保険。1 人800 円/年の掛け金で、千葉市ラグビースクールの活動、及び活動場所への往復中に起きた事故に対して保証されます。

(保険金例) 通院日数4 日以上であれば、1 日毎に 500 円。医師による治療、及び柔道整復師による施術が、通院日数の対象になります。

(保証期間) 加入から来年の3 月末日まで。

### 【入部に際して】

チーム 編 成	Aチーム 小学校5～6年生 Bチーム 小学校3～4年生 Cチーム 小学校1～2年生 Dチーム 幼稚園(就学前児童) ★中学生(ジュニア)も活動しています。詳しくは、ジュニアヘッドコーチ まで
練習 グラウンド	千葉県立磯辺高等学校グラウンド  *遠征もあります。遠征の詳細については、練習後のミーティング時、またはラグビースクールの掲示板にて連絡があります。
練習日	毎週日曜日 9:00～12:00
部 費	年間 6,800円(保険料込み) 初年のみ入会金 2,000円 ★詳しいことは別紙参照。
個人で用意していただくもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームジャージ、パンツ、ストッキング、スパイク、ヘッドキャップ、マウスピース</li> <li>・夏季は、Tシャツ可、必要であれば帽子</li> <li>・水筒</li> </ul> <p>※チームジャージ(黄色)、パンツ(紺色)、ストッキング(黄色)は、入会時に各ヘッドコーチに注文してください。(セットで10,300円)</p> <p>※個人の持ち物、衣類等には必ず記名をして下さい。</p>
その他	<p>★練習時の保護者の当番は有りません。年に3回納会(7月・12月・3月)が行われますので、その際には保護者のご協力をお願いします。遠征の時には、遠征準備、試合時の水分の補給等の仕事がありますのでご協力をお願いします。</p> <p>★雨天中止の場合は、連絡網で事前に連絡します。途中入部者は、連絡網が更新されるまでは、各チームのヘッドコーチより連絡があります。</p>

### 【入部時に必要なもの】

- ・入部申込書(緊急連絡先の記入を必ずお願いします。)  
⇒各ヘッドコーチへ確実に提出願います。
- ・入会金 部費(指定口座にお振込み下さい。)
- ・ユニフォーム一式【ジャージ・パンツ・ソックス】  
⇒各ヘッドコーチに申込み、購入してください。

### 【約束・ルールについて】

ラグビーのルールを覚えて、楽しい仲間とラグビーをすることを学んで行きましょう。スクールは、団体行動を学ぶ場でもあります。助け合うこと、励ましあうことを基本とするために次のことを守りましょう。

- 時間を守りましょう！ 集合時間に間に合うように、グラウンドへ集合しましょう。
- Aチームを中心にして道具を用意します。
- 挨拶は基本です。大きな声で気持ちのよい挨拶を心がけましょう。
- 練習の最後にミーティングがあります。次回の連絡がありますので参加しましょう。
- 休むときは、掲示板等を利用して連絡しましょう。
- 道具は、大事に扱きましょう。
- グラウンドはマナーを守って大切に使用しましょう。ゴミは各自で持ち帰りましょう。

1年間を通して、基礎練習・練習試合・合宿・練成会・納会・6年生を送る会・・・いろいろみんなで楽しみながら頑張りましょう。

**目指せ  
ALL JAPAN**





【スクールエンブレムの由来】

地色の黄色は、千葉県の県花である“菜の花”の黄色をイメージし、千葉市の市木として親しまれている“夾竹桃”を中心に据えています。図案は、昭和60年大宮台ラグビースクール発足時に在籍していた、一級建築士「故藤原」氏の作です。

*All for one, One for All*